

近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.6 (2015) の発行にあたって

近畿大学次世代基盤技術研究所
所長 角田 勝



近畿大学次世代基盤技術研究所（広島キャンパス内）は、前身の工業技術研究所を平成21年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（地域連携による自動車技術に関する研究）に採択されたのを機に、平成22年4月改組して設立されました。以後、近畿大学広島キャンパスの産学官連携活動の要の部署として、工学部産学官連携推進協力会をはじめとした東広島市、広島県、近隣公設機関、さらには瀬戸内圏産業界の方々の暖かいご支援を頂きながら、着実に発展して参りました。

本報告書（第6巻）では、基盤形成支援事業で行ってきた戦略的研究プロジェクトについて2014年7月に開催した成果発表会を総括した活動報告をはじめ、次世代基盤技術研究所とその活動を牽引してきた「自動車技術研究センター」、さらには日本のものづくり革新技術を担うために2015年4月に設置された「3D造形技術研究センター」など7つのセンターの最近1年間の研究活動の概要を報告させて頂いています。また、産学官連携で生まれた研究成果やその再録論文、センター活動に関連した研究状況のレビューや技術報告を収めています。

ところで、国立大学法人には大学の位置づけについて、世界トップの大学と競い合える卓越した教育や研究を行う大学、特定分野での優れた教育や研究を行う大学、または地域ニーズに対応した人材育成や研究を行う大学、のいずれを目指すか自らの方向性が求められています。「未来志向の実学教育」を教育理念とする近畿大学にあっては、ましてや瀬戸内産業圏の山陽中央部に位置する本広島キャンパス（工学部・大学院システム工学研究科・次世代基盤技術研究所）では、地域連携に基づく産業人・技術者の育成とその貢献にあるのは必然と考えています。

その意味からしても、本報告書が最新の技術情報を提供するとともに産官学連携の付帯資料として、広く地域産業界で携われる方々の参考に資することができ、近畿大学工学部ならびに次世代基盤技術研究所との連携が強まれば幸いに存じます。

平成27年6月